

## 4) 市民の生活圏

調布市では都市計画マスタープラン、緑の基本計画等において、広域的地域区分として東西南北の4地域を設定しています。また、小学生、中学生の生活圏域に相当すると考えられる小学校区は20校区、中学校区は8校区を設定しています。

4地域は東西、南北におよそ2~4kmと幅がありますが概ね同程度の広さで、京王線、国道20号沿線の西部、南部、東部地域と北部地域に大きく分けられます。西部、南部、東部地域は東西方向に交通、市街地が形成され、北部地域は調布駅、つつじヶ丘駅と吉祥寺を結ぶ南北方向に交通、市街地が形成されています。また、調布市ではこの4地域を基本に地域別街づくり方針を定めています。

小学校区は東西、南北におよそ1~2kmの地区が多いですが、面積は市街化が進んだ南部地域では小さく、市街化の進んでいない郊外部では大きくなる傾向にあります。特に、市西側の野川、西町周辺や深大寺周辺は広い学区となっています。

中学校区は小学校区以上に地域による面積の差が大きく、南北方向では最小で1.5km程度、最大で5km近くとなっています。また、調布中学校区は西町・富士見町周辺から三鷹市を挟んで深大寺元町に飛び地で学区が存在する形になっています。なお、調布市では小学校区と境界線が異なっている場所があるため、同じ小学校から別々の中学校に進学する場合があります。

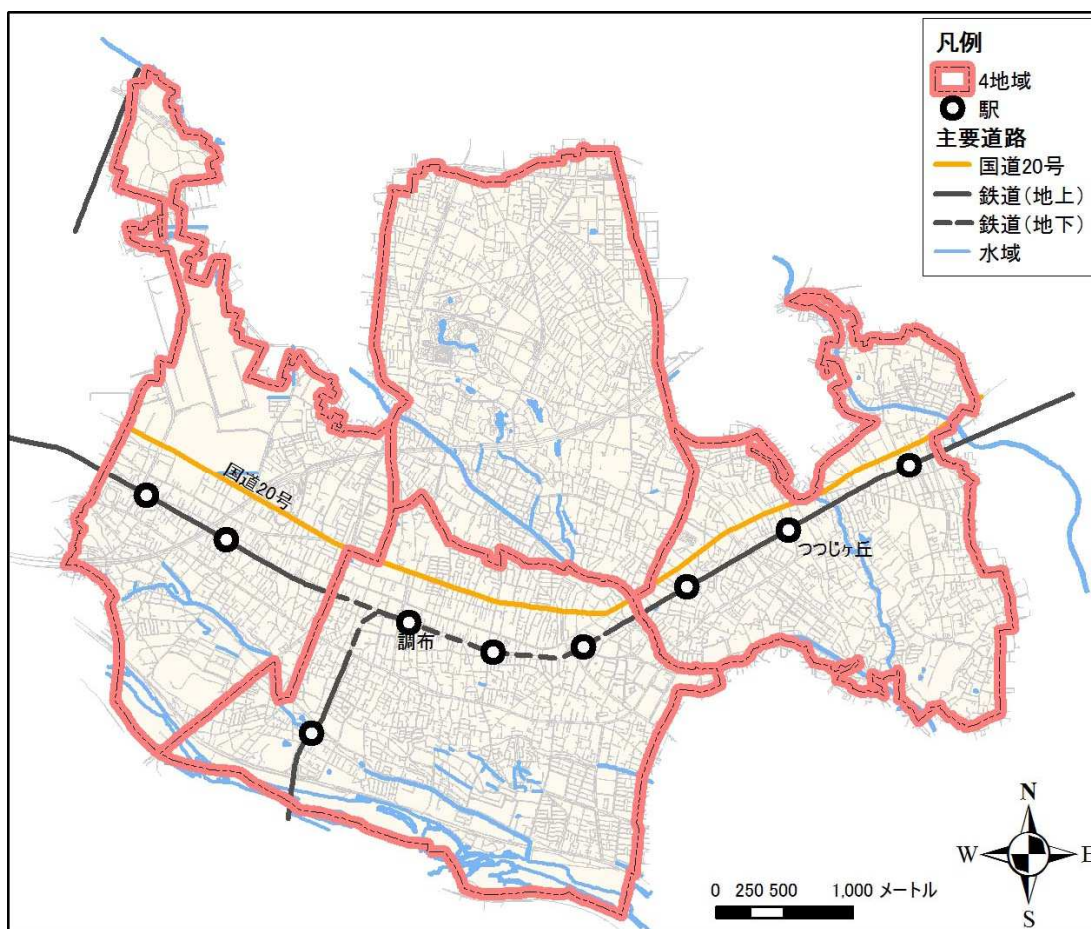


図 2-11 東西南北の4圏域

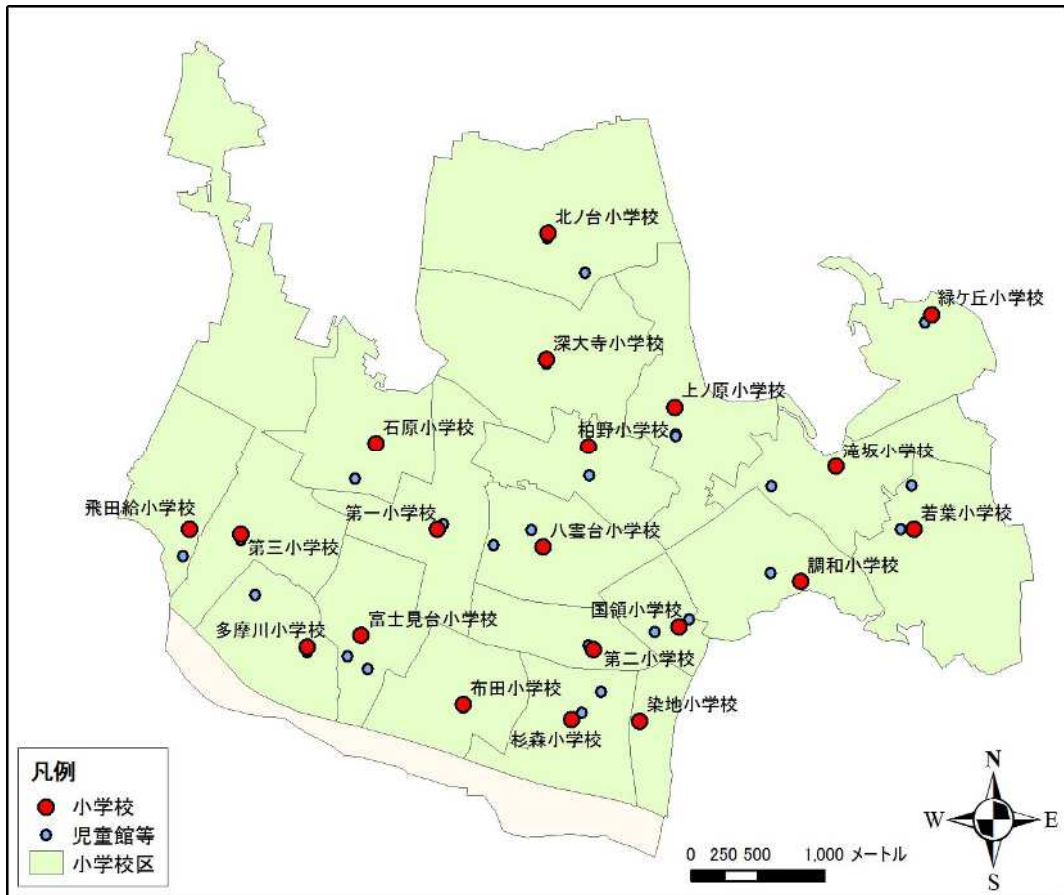


図 2-12 公立小学校・学区域と児童館・学童クラブの配置

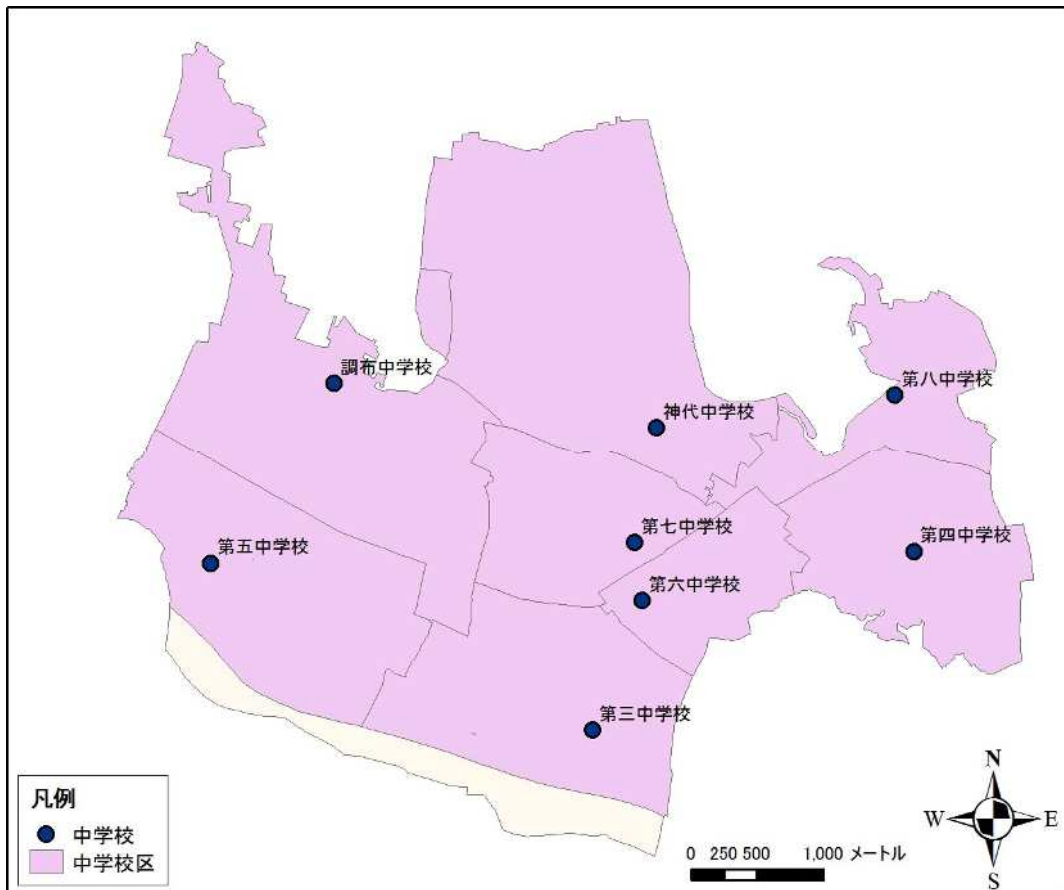


図 2-13 公立中学校の配置

5) 文化財

市内には深大寺等の寺社や下布田遺跡・深大寺城跡等の文化財が点在しており、特に深大寺周辺は、史跡等の歴史資源、深大寺そば店、都立神代植物公園が一体となった観光地としてにぎわいを見せています。また、公園にある文化財としては、庚申塚児童遊園に調布市指定有形民俗文化財の「山野庚申塚の庚申塔」が所在しています。



図 2-14 文化財の配置

出典：調布まっぴ



## 6) スポーツ施設

調布市では、多摩川河川敷や味の素スタジアム（都有施設）周辺等、市域外縁部にスポーツ施設が多く整備されています。このうち市立スポーツ施設は平均して昭和50年代に整備されたものが多く、施設の老朽化に伴う維持・改修が必要となってきました。

そのため、調布市総合計画では、各施設の利用実態や老朽化の状況等を踏まえ、利用者の声や地域の特色を生かした安全で利便性の高いスポーツ施設の整備に努めていくこととしています。また、調布基地跡地における留保地（国有地）については、公園の整備に向けた国との協議を踏まえ、スポーツ施設の段階的な整備を検討していくこととしています。

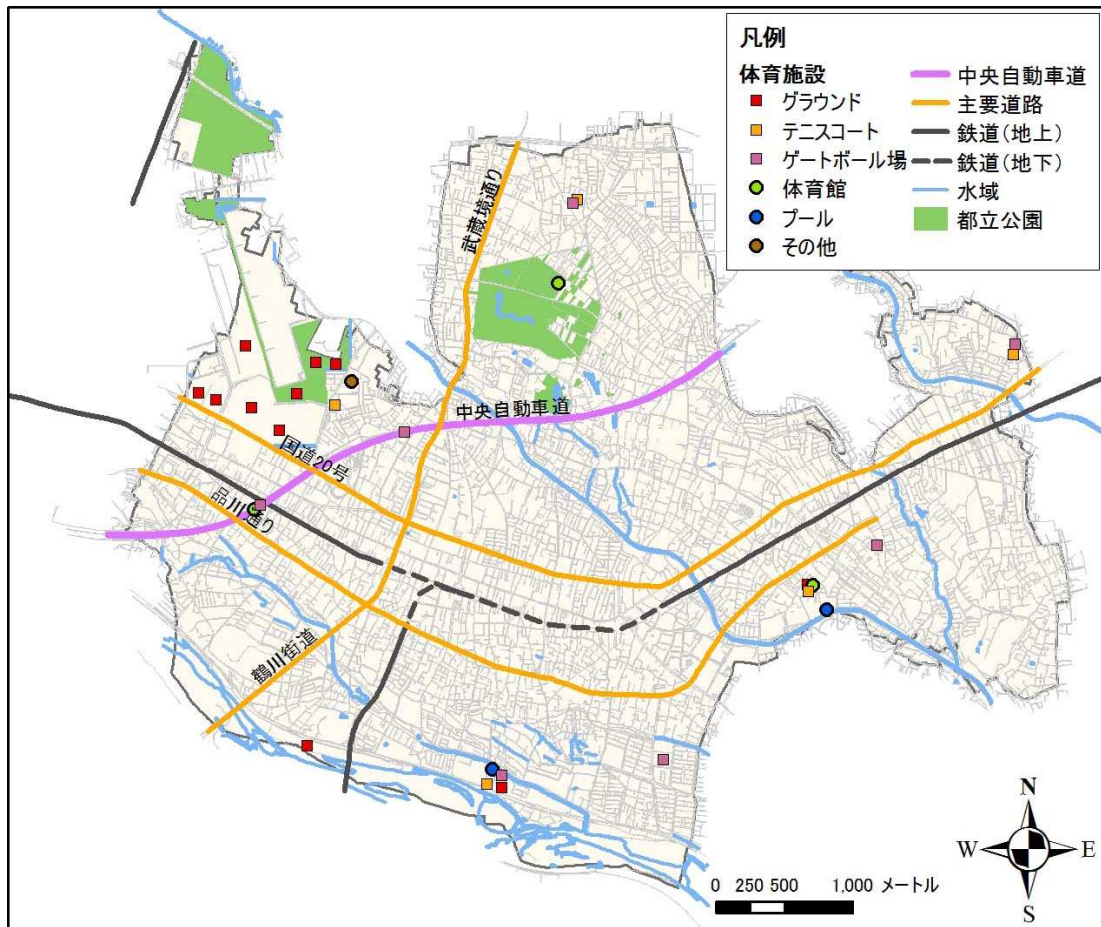


図 2-15 スポーツ施設の配置

出典：調布まっぴ

## 7) 関連計画

### (1) 都市計画マスタープラン

都市計画マスタープラン(平成26年9月策定)の環境箇所の基本方針では「水と緑に“憩う”～生命の安らぐまちづくり～」を目標とし、以下の基本方針および施策を定めています。

#### ■基本方針

- 1 武蔵野の限りある水と緑の環境を積極的に守り育て、調布らしさを発揮します。
- 2 農地を守り生かし、安らぎのあるまちづくりを進めます。
- 3 循環型の都市づくりを進めます。
- 4 自然とふれあう、水と緑のネットワークづくりを進めます。

#### ■実現のための施策(公園・緑地の保全・整備に関する施策を抜粋)

- ① 市民の利用ニーズや公園の充足状況を踏まえながら、規模や配置等計画的に、地域に親しまれる身近な公園・広場等を整備します。
- ② 公園不足地域においては、新たな公園用地の候補として、未利用地や農地等の活用を検討します。
- ③ 崖線と一体となった緑である「調布の森」は、地域制緑地制度等の活用や緑地等として整備することにより、保全・活用策を検討します。
- ④ 調布基地跡地の留保地(国有地)については、防災・スポーツレクリエーション機能を有する公園としての活用を目指し、国との協議等を進めます。
- ⑤ 京王線連続立体交差事業により生み出された鉄道敷地を活用し、中心市街地における緑地空間の整備を進めます。

【公園・緑地等関連方針図】



※1 都市計画道路：将来的な完成形を示したものであり、目標年次における道路網を示したものではありません

図 2-16 水と緑のネットワーク形成図

出典：調布市都市計画マスタープラン



(2) 地域防災計画

地域防災計画では、公園・緑地のうち都立神代植物公園、多摩川河川敷が震災時の広域避難場所として指定されているほか、避難時の一時集合場所として公園・緑地の利用を想定しています。また、都立神代植物公園、都立武蔵野の森公園が大規模救出・救助活動拠点として位置づけられているほか、西部地域の調布市基地跡地に防災公園を整備することが想定されています。

地域防災計画では、これらの公園・緑地の防災機能の拡充や、延焼防止機能を強化していくことを今後の対策としています。

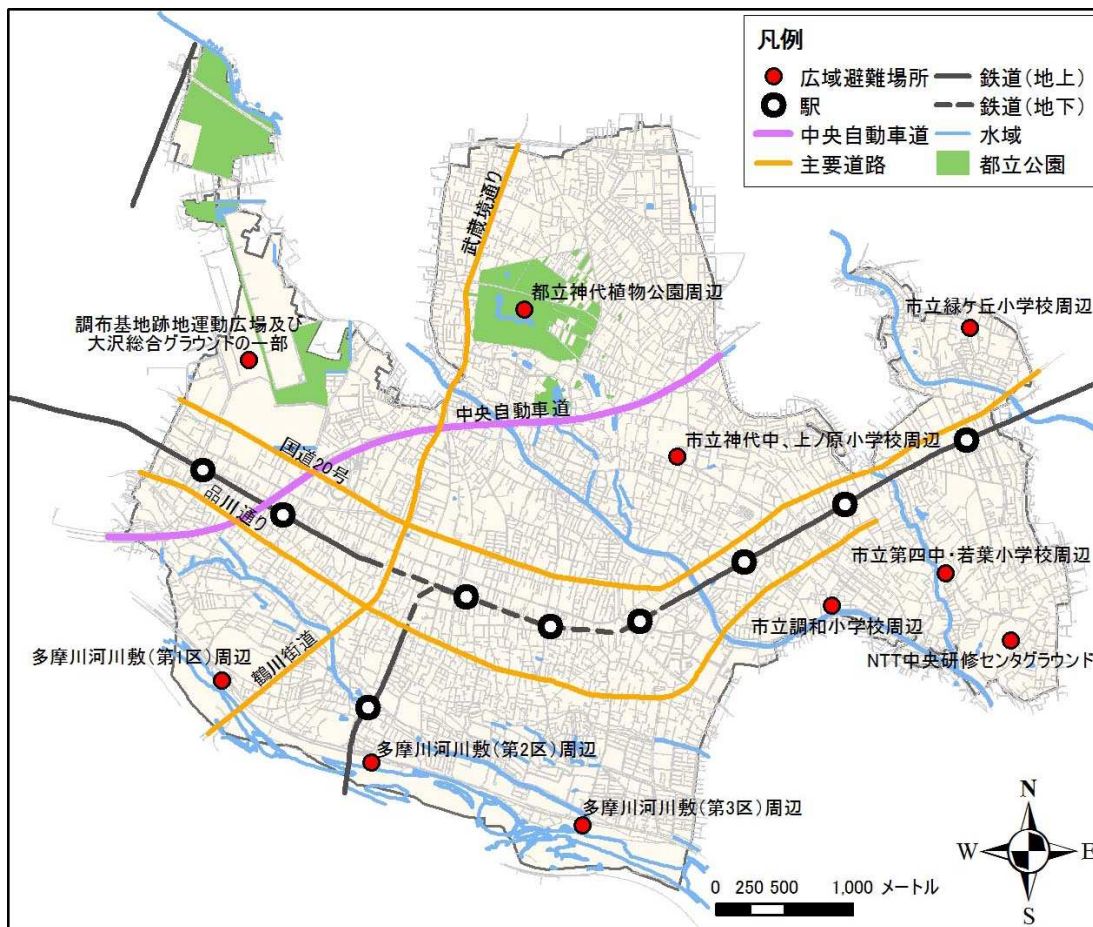


図 2-17 避難場所等の状況

### 第3章 現状と課題の整理

#### 3-1 現状の公園・緑地整備状況の把握

##### 1) 公園・緑地の整備状況

平成22年3月現在、公園・緑地の面積は136.5haとなっています。そのうち公園整備面積は121.2haで、一人当たりの面積は約5.48㎡/人になります（出典：緑の基本計画）。なお、この数字は本指針の対象外の都立神代植物公園，都立野川公園等を含んだものです。

本指針の対象公園・緑地のうち公園・児童遊園・仲よし広場は平成27年3月時点で222箇所、34.6haが整備済みとなる予定です。公園・児童遊園・仲よし広場の開設年度を年代別にみると、1970年代が74箇所と最も多く、1980年代が54箇所、1990年代が29箇所と徐々に少なくなっています。そのため、開設後30年以上経過した公園等が全体の54.5%を占め、施設の老朽化が進んでいます。

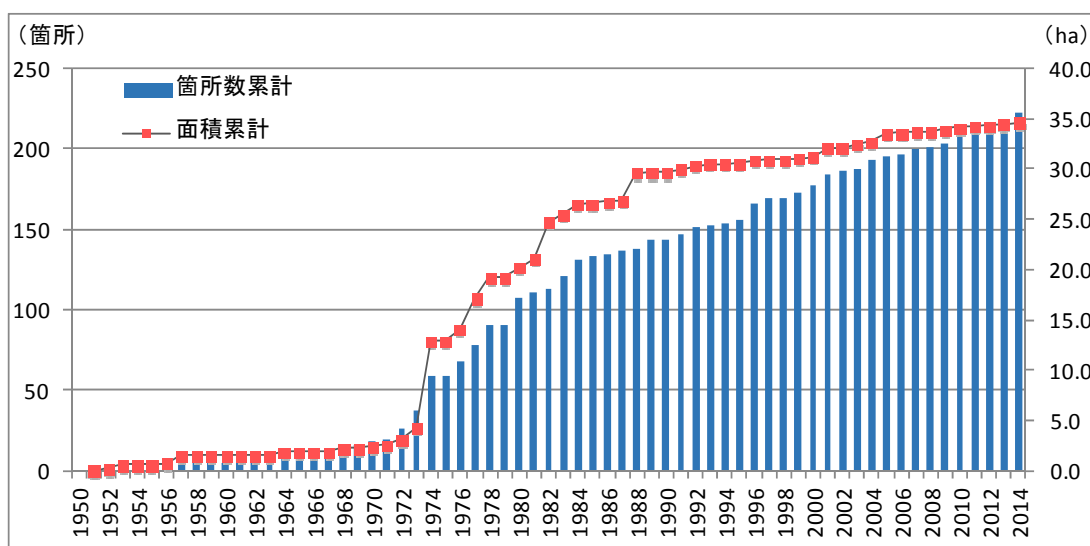


図3-1 公園等の開設箇所数と整備面積（累計）

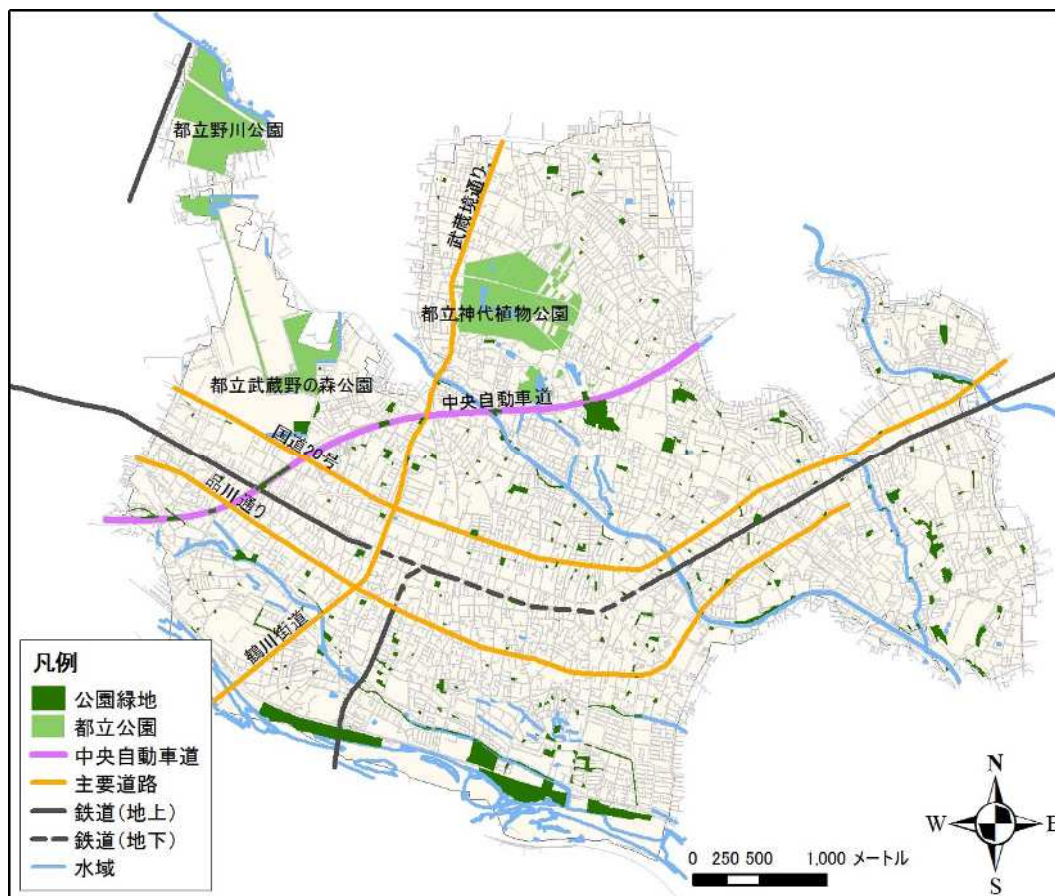
表3-1 公園等の開設年代・経過年数別の開設箇所数

開設年代	箇所数	割合	経過年数	箇所数	割合
1950年代	5	2.3%	10年以下	34	15.3%
1960年代	11	5.0%	11～20年	36	16.2%
1970年代	74	33.3%	21～30年	31	14.0%
1980年代	54	24.3%	31～40年	84	37.8%
1990年代	29	13.1%	41～50年	32	14.4%
2000年代	30	13.5%	51～60年	2	0.9%
2010年代	19	8.6%	61～70年	3	1.4%
合計	222	100.0%	合計	222	100.0%



## 2) 公園・緑地の配置状況

市立の公園・緑地は南部地域に多く、北部・東部・西部地域はやや少なくなっています。



※地域別の箇所数、面積は P.39, P.40 を参照

図 3-2 公園・緑地の配置状況

## 3) 公園・緑地の面積規模

公園・児童遊園・仲よし広場の整備面積をみると、500㎡未満の小規模な公園が125箇所(56.4%)で過半数を占めています。

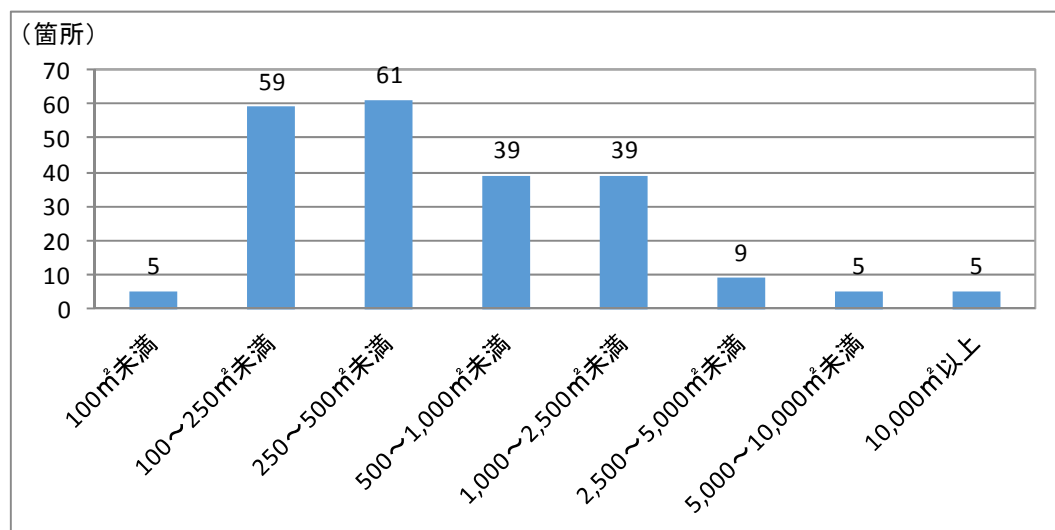


図 3-3 面積規模別の公園等箇所数

#### 4) 公園・緑地の整備形態

平成 24 年度に実施した公園等実態調査の結果から、公園・児童遊園・仲よし広場の整備形態を施設の特徴に応じて分類すると、遊具型の公園が 125 箇所 (58.1%) を占めており、次いで広場型の公園が多くなっています。

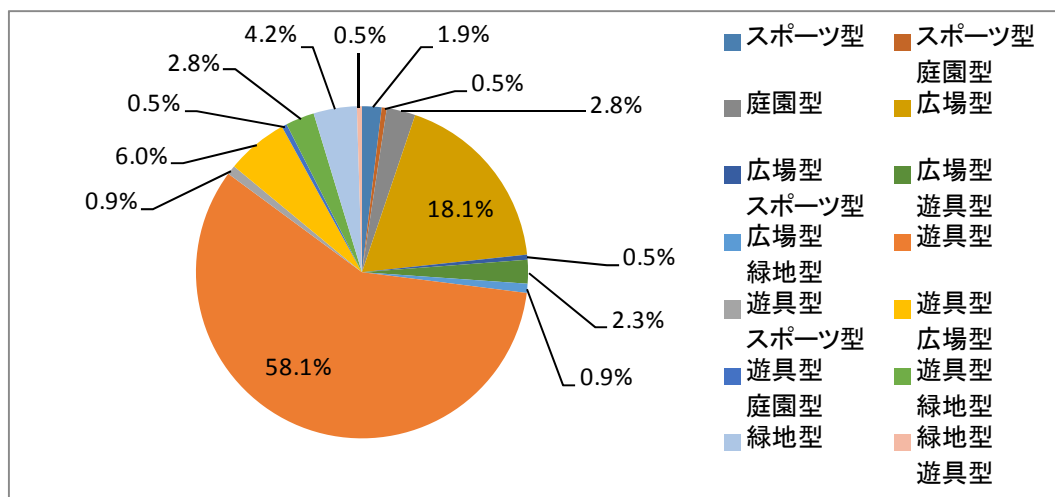


図 3-4 公園等の整備形態

表 3-2 公園等の整備形態

項目	箇所数	割合
スポーツ型	4	1.9%
スポーツ型庭園型	1	0.5%
庭園型	6	2.8%
広場型	39	18.1%
広場型スポーツ型	1	0.5%
広場型遊具型	5	2.3%
広場型緑地型	2	0.9%
遊具型	125	58.1%
遊具型スポーツ型	2	0.9%
遊具型広場型	13	6.0%
遊具型庭園型	1	0.5%
遊具型緑地型	6	2.8%
緑地型	9	4.2%
緑地型遊具型	1	0.5%
合計	215	100.0%

表 3-3 整備形態の概要

整備形態	概要
スポーツ型	テニス、サッカー、野球等のスポーツ専用施設がある
庭園型	庭園が中心となっている
広場型	芝生・砂地等の広場で構成されている
遊具型	遊具が中心となって構成されている
緑地型	緑地が中心となって構成されている

出典：平成 24 年度公園等実態調査

### 5) 公園・緑地の誘致圏

市立公園・緑地の誘致圏をみると、市域の大部分が公園・緑地から250mの距離にあり、西部、北部地域の空白地帯も都立神代植物公園，都立武蔵野の森，都立野川公園が大部分を占めているため、市内のほとんどが公園・緑地から250mの範囲内に入っています。

また、公園・緑地には供用区域の一部または全部が借地した民有地であるものがあります。次頁に、全域が借地である公園・緑地の誘致圏を除いた場合の誘致圏を示しました。借地により公園・緑地を開設することで、用地取得（一部借地を含む）による整備だけの場合に比べ、身近な公園・緑地をご利用いただける地域が増加したことが分かります。

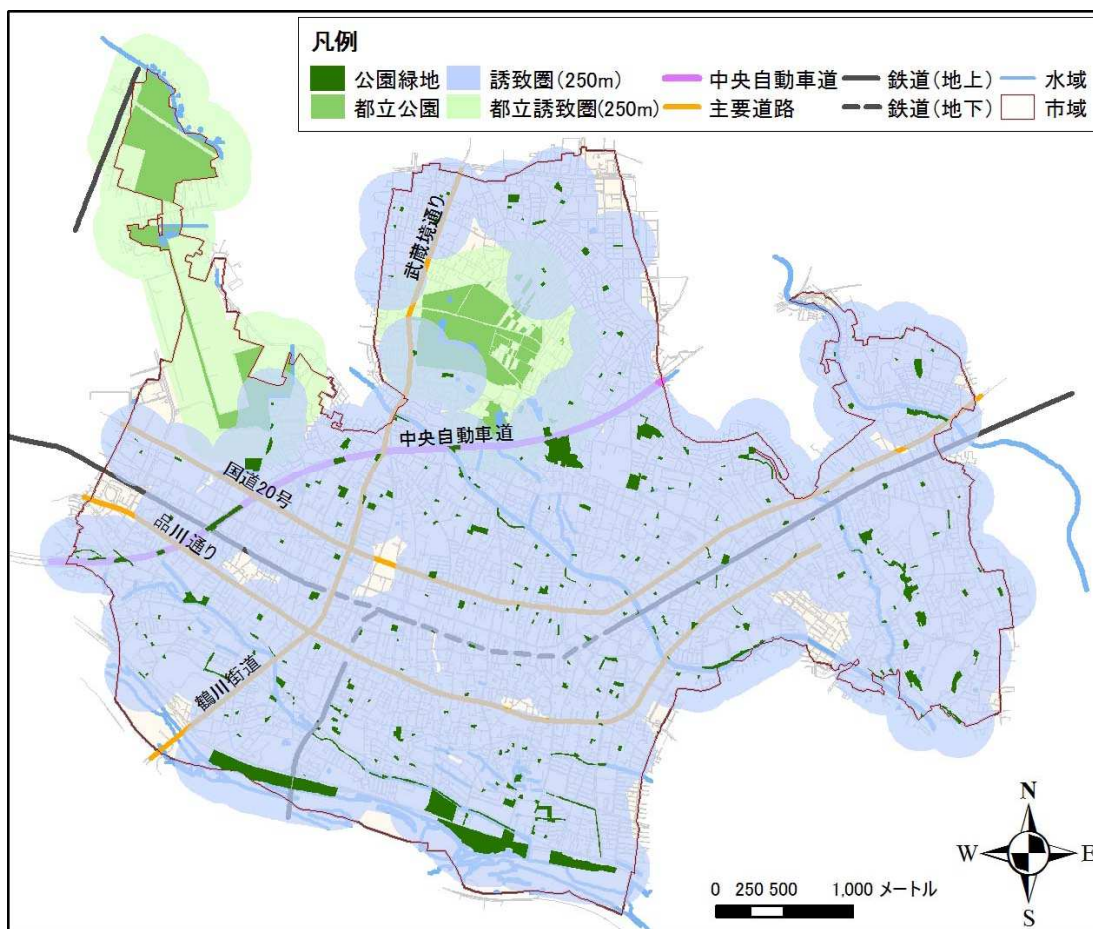
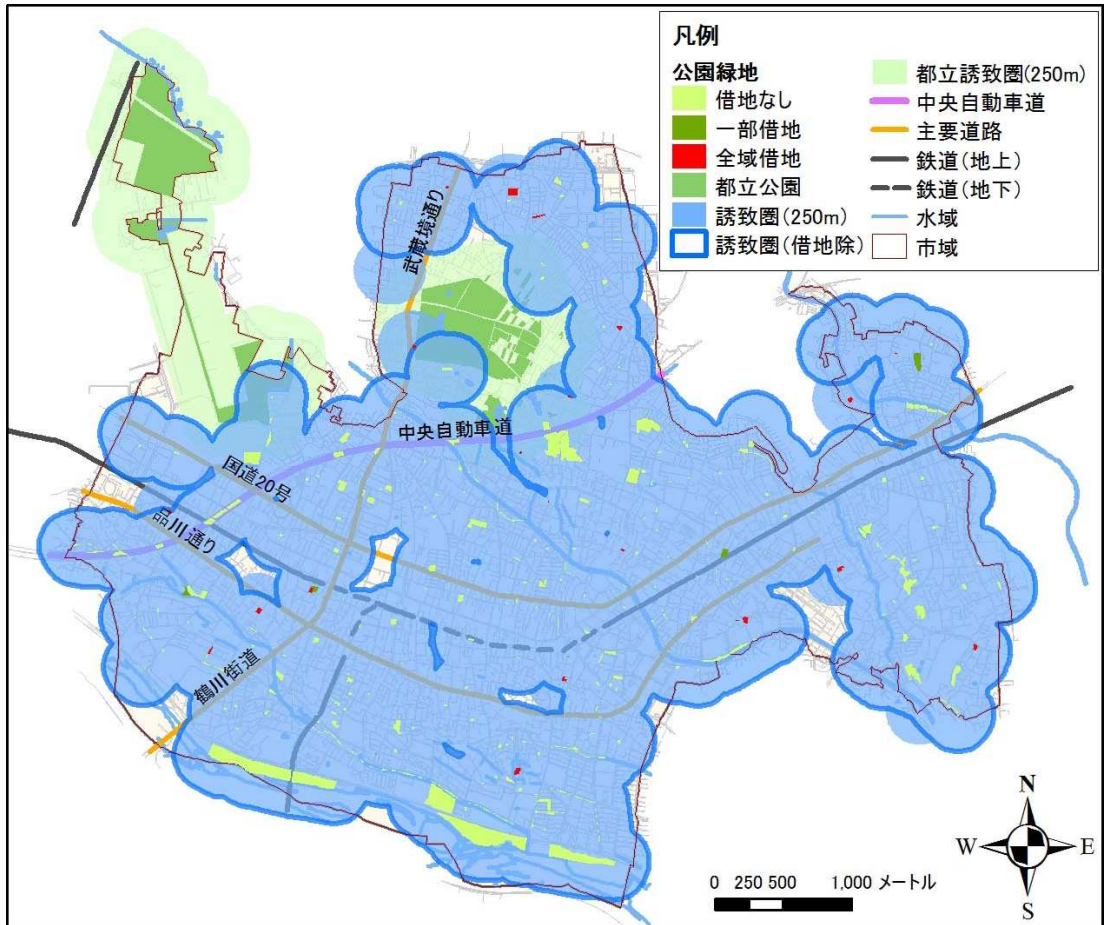


図 3-5 公園・緑地の誘致圏





※水色の公園・緑地誘致圏のうち、青枠外側が借地により拡大した誘致圏である

図 3-6 借地により開設した公園・緑地を除いた場合の誘致圏

### 3-2 利用者ニーズからみた改善点の把握

#### 1) 公園等実態調査の実施

調布市では、既存市立公園等の利用実態を把握するため、平成24年度に公園等実態調査を実施しました。調査の概要は、以下のとおりです。

表 3-4 公園等実態調査の概要

調査対象	公園 82 箇所，児童遊園 98 箇所，仲よし広場 35 箇所
調査期間	平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 1 月 31 日
調査日	平日と休日（土日及び祝日）各 1 日
調査時間	午前 9 時から午後 4 時まで
調査内容	利用状況の目視調査，公園等の利用者からのニーズ等の聞き取り

#### 2) 公園の利用状況

##### (1) 公園等の利用者数

性別・世代別の利用者数をみると、平日は「幼児」、休日は「小学生男子」の利用が最も多くなっています。

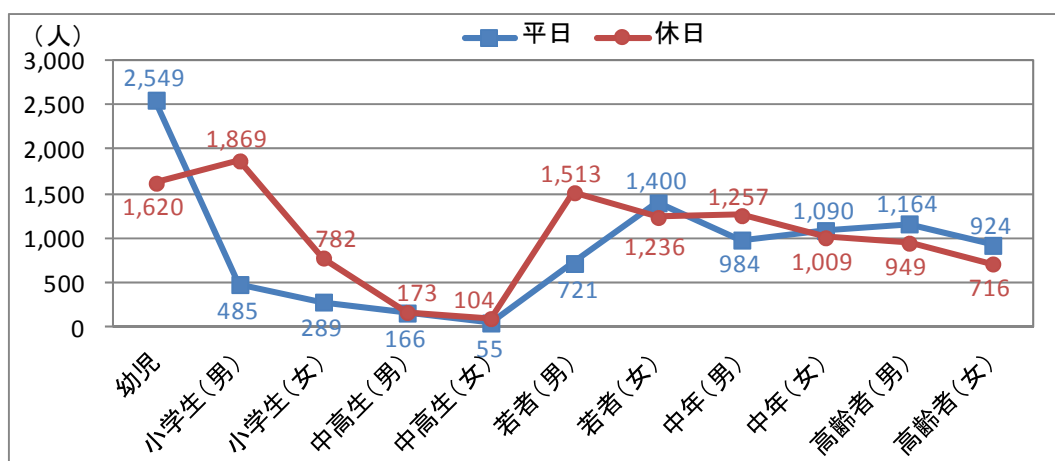


図 3-7 性別・年代別の利用者数 (目視調査)

##### (2) 時間帯別利用者数

時間帯別の利用者数をみると、午前 10 時台にピークを迎えた後、昼にかけて一旦減少し、午後に再び増加する傾向が見られます。

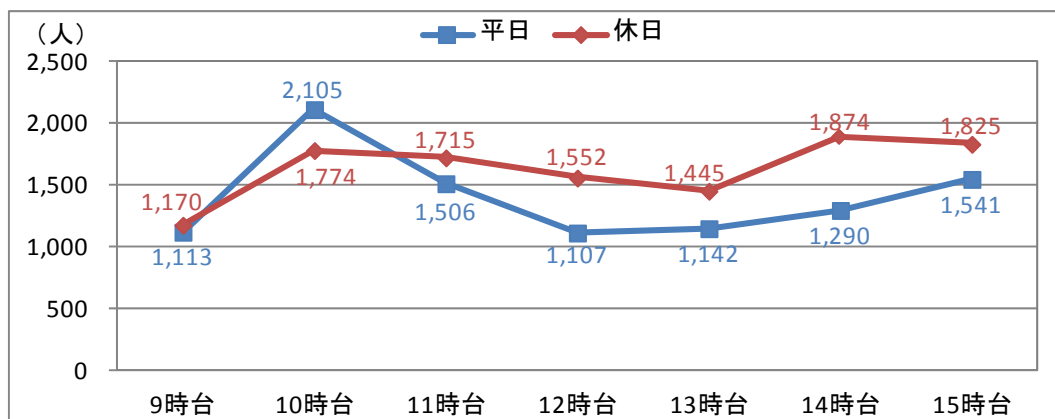


図 3-8 時間帯別の利用者数 (目視調査)

### (3) 公園等の利用目的

利用目的では「犬の散歩」が最も多く、次いで「遊び」が多くなっています。

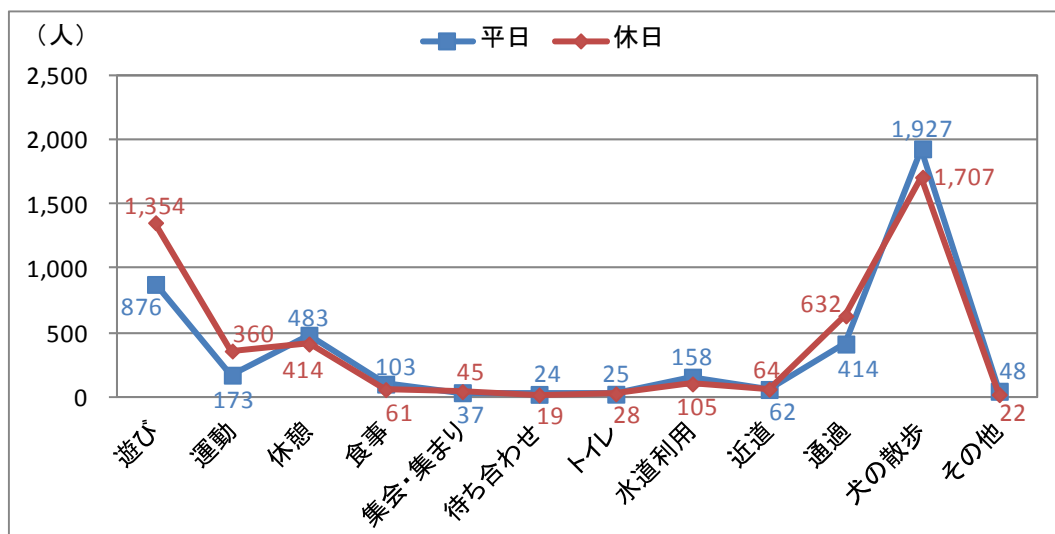


図 3-9 利用目的 (目視調査)

### (4) 利用場所

公園内で利用している場所は「通路」が最も多く、次いで「広場」「遊具」が多くなっています。

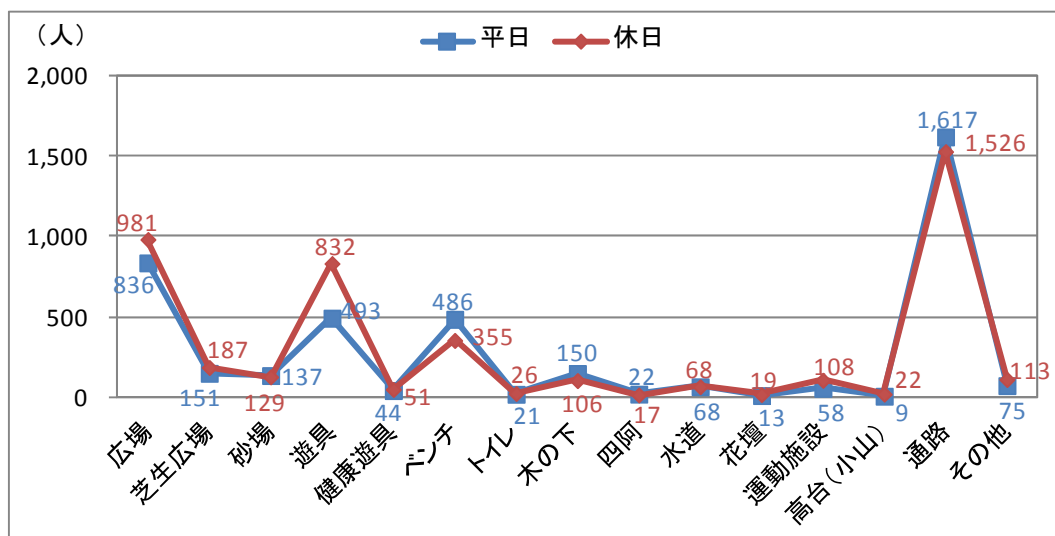


図 3-10 公園内の利用場所 (目視調査)



### 3) 利用者ニーズ

#### (1) 公園に欲しい施設

公園に欲しい施設では「遊具」と「トイレ」の要望が最も多く、次いで「ベンチ」「水道」となっています。世代別では、若い世代で「トイレ」、「遊具」の要望が多く、高齢世代で「ベンチ」が多くなっています。

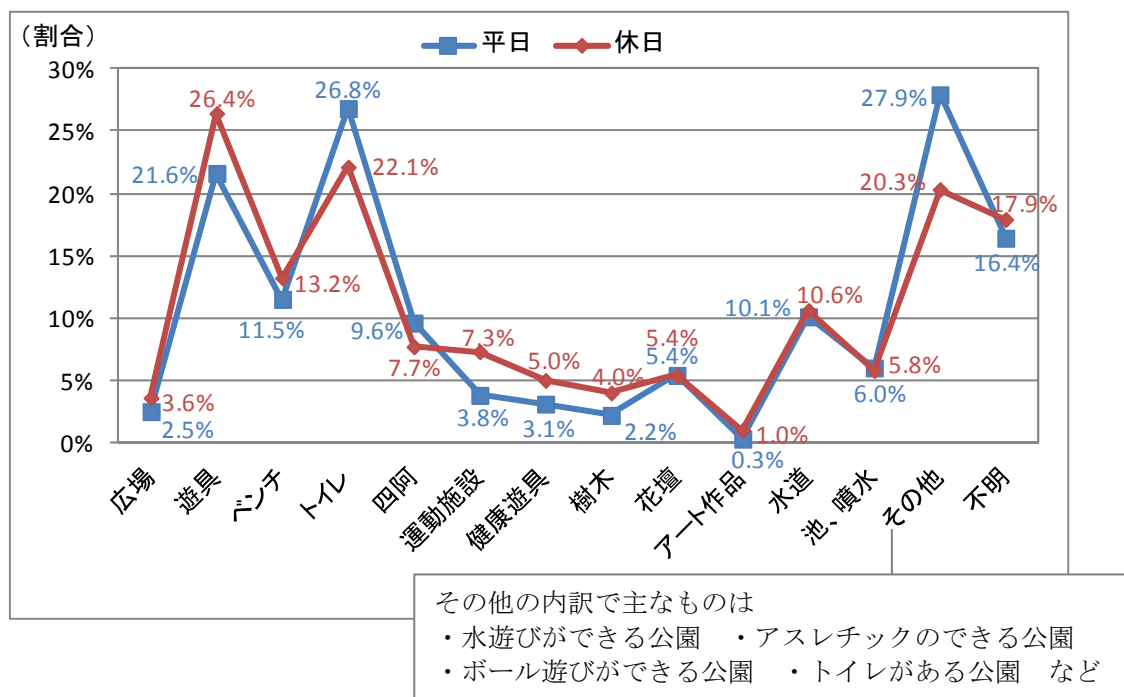


図 3-11 公園に欲しい施設（聞き取り調査）

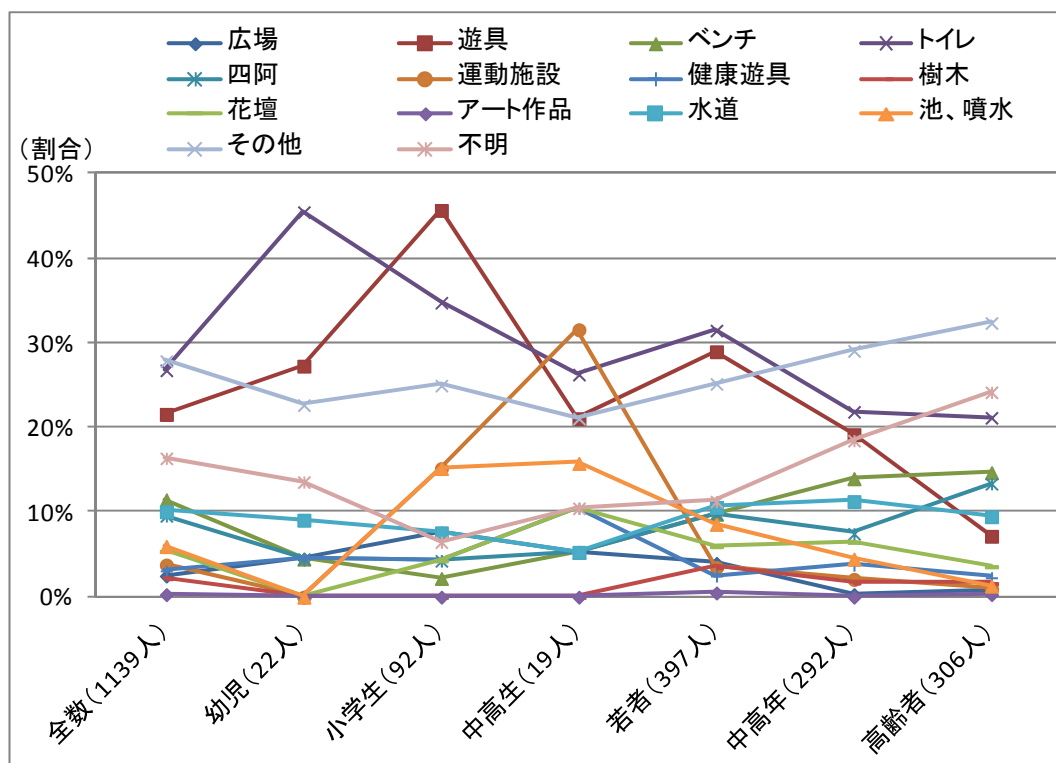


図 3-12 公園に欲しい施設（世代別・平日／聞き取り調査）

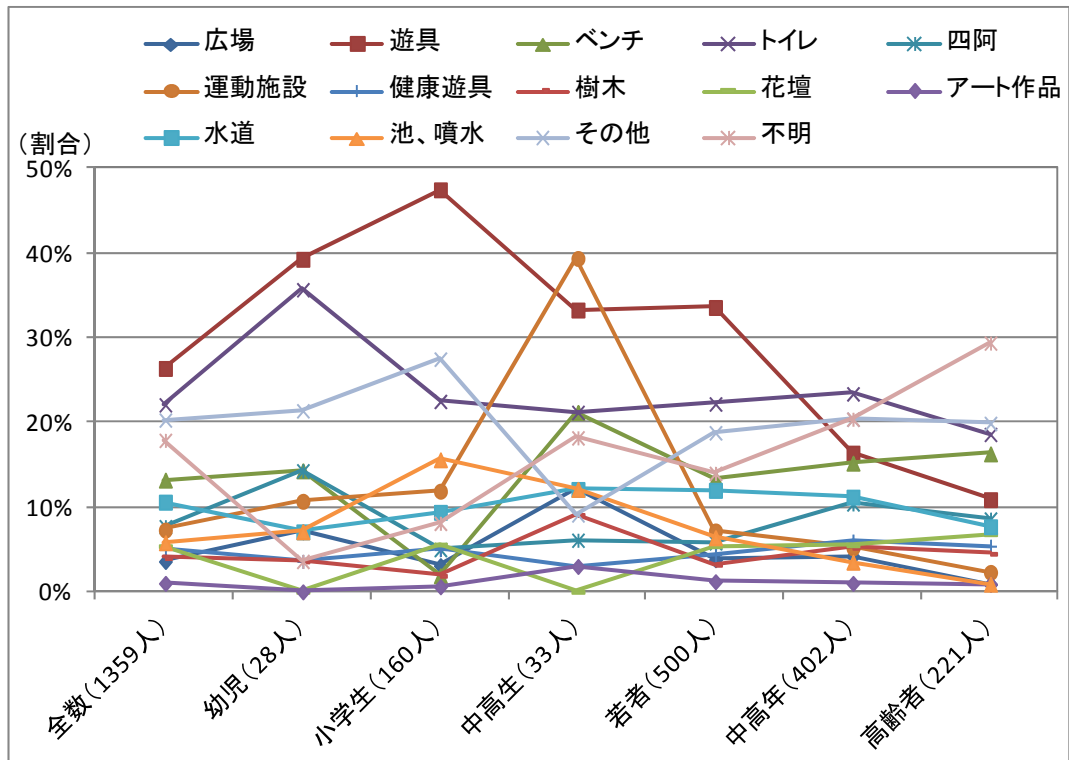


図 3-13 公園に欲しい施設 (世代別・休日／聞き取り調査)

## (2) 公園の好きなところ

聞き取りを行った公園の好きなところは、平日・休日とも「便利な場所にある」が最も高く、次いで「静かで落ち着いた環境である」「自然が豊かである」が多くなっています。世代別にみると、多くの世代で「便利な場所にある」が高くなっていますが、幼児と休日の小学生では「遊具が充実している」が、休日の中高生では「静かで落ち着いた環境である」が多くなっています。

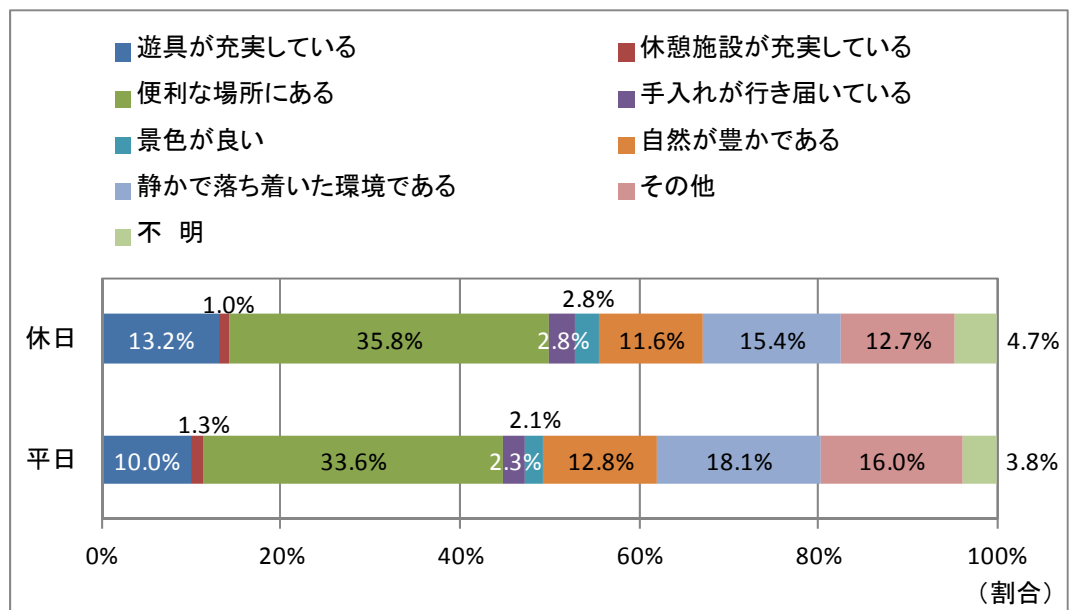


図 3-14 公園の好きなところ (聞き取り調査)

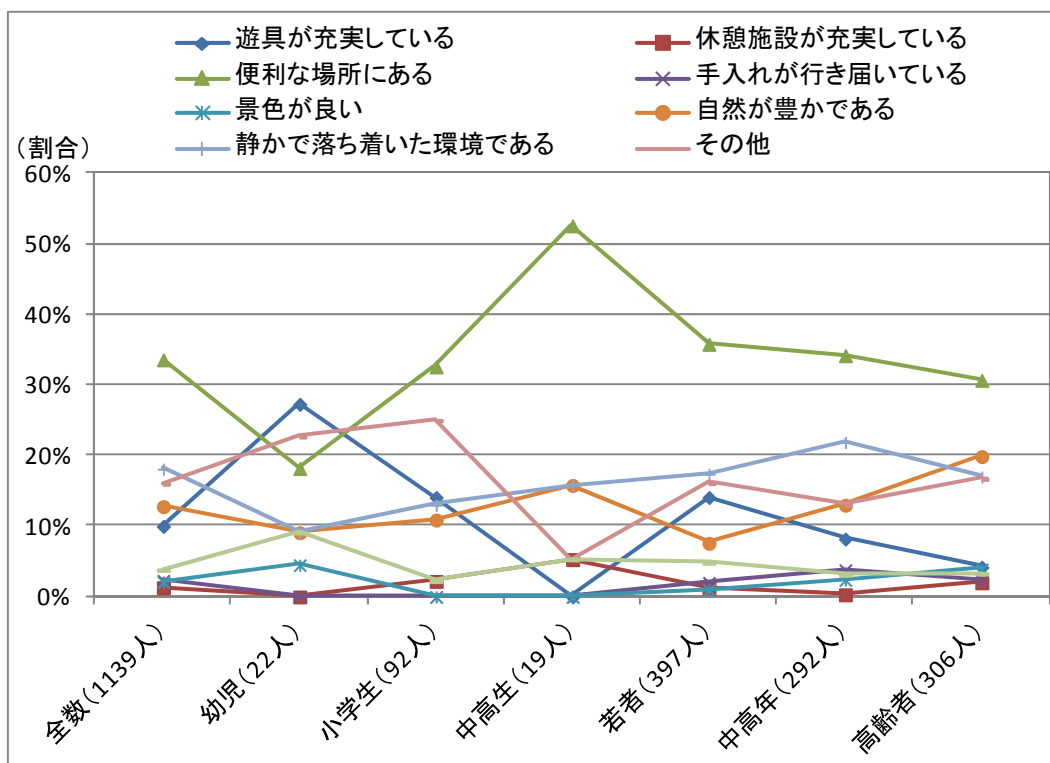


図 3-15 公園の好きなところ (世代別・平日/聞き取り調査)

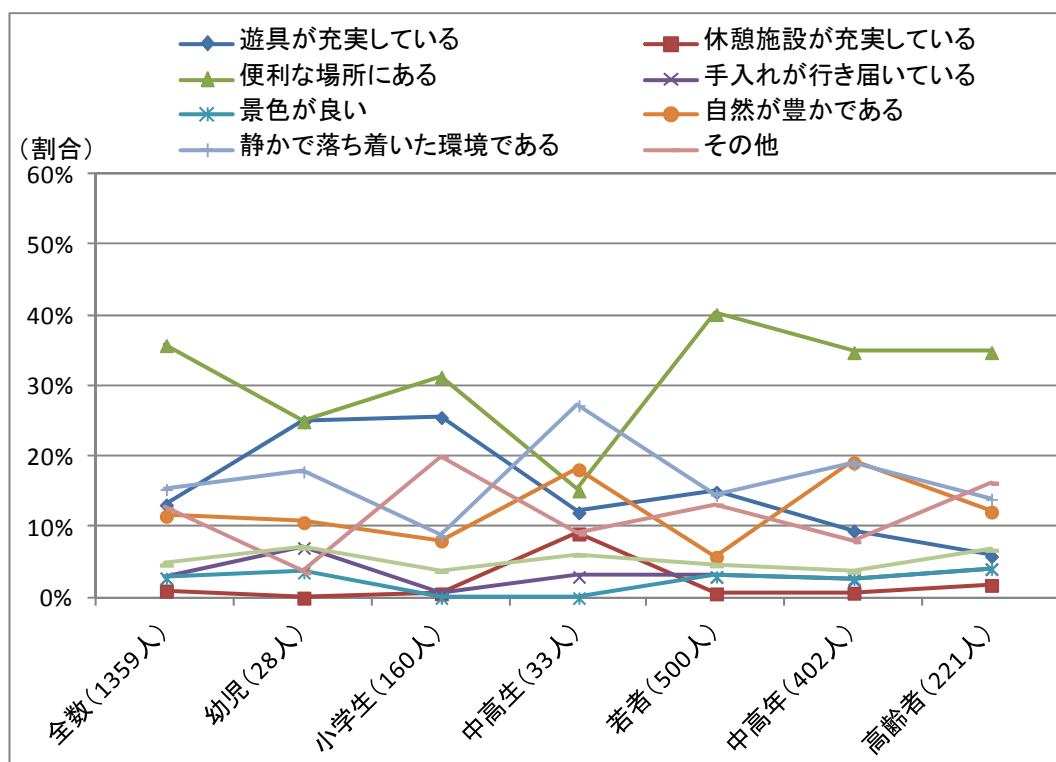


図 3-16 公園の好きなところ (世代別・休日/聞き取り調査)



### (3) 市内に欲しい公園等

市内に欲しい公園等では「自然がいっぱいの公園」が最も多く、そのほかに「遊具がたくさんある公園」、「スポーツのできる公園」「冒険遊びのできる公園」「大きな広場のある公園」「ベンチや四阿（あずまや）など休憩できる施設がたくさんある公園」等が多くなっています。

世代別にみると、幼児～若者では「遊具がたくさんある公園」「冒険遊びのできる公園」「スポーツのできる公園」が比較的多く、中高年・高齢者で「自然がいっぱいの公園」「ベンチや四阿など休憩できる施設がたくさんある公園」が多くなっています。

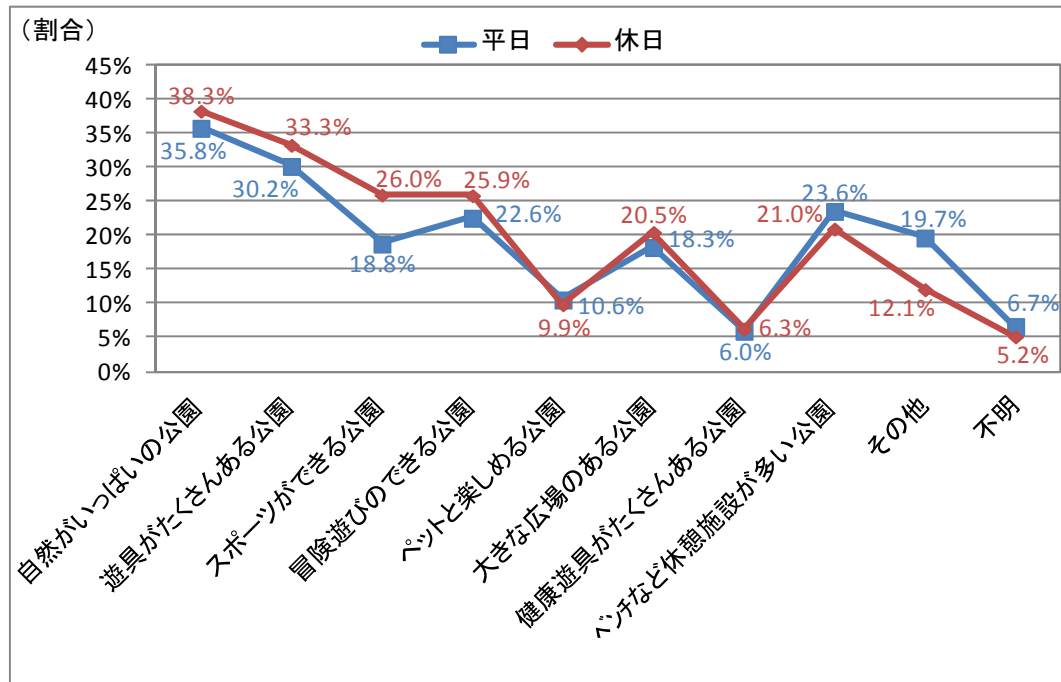


図 3-17 市内に欲しい公園等（聞き取り調査）

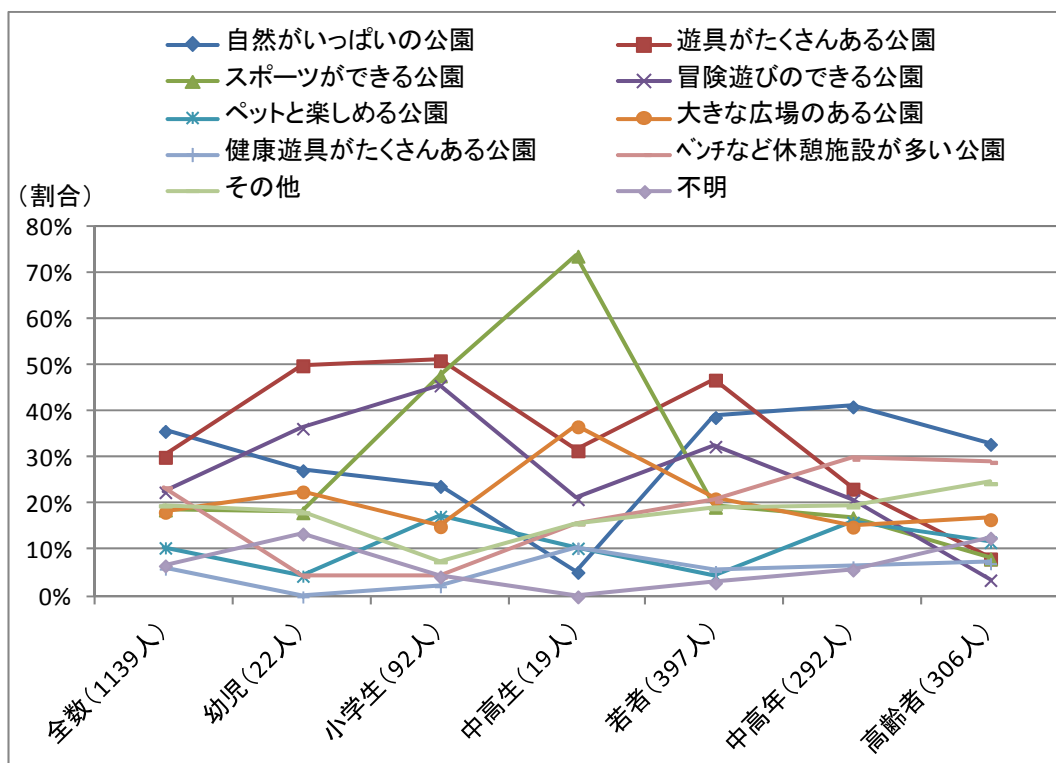


図 3-18 市内に欲しい公園等 (世代別・平日/聞き取り調査)

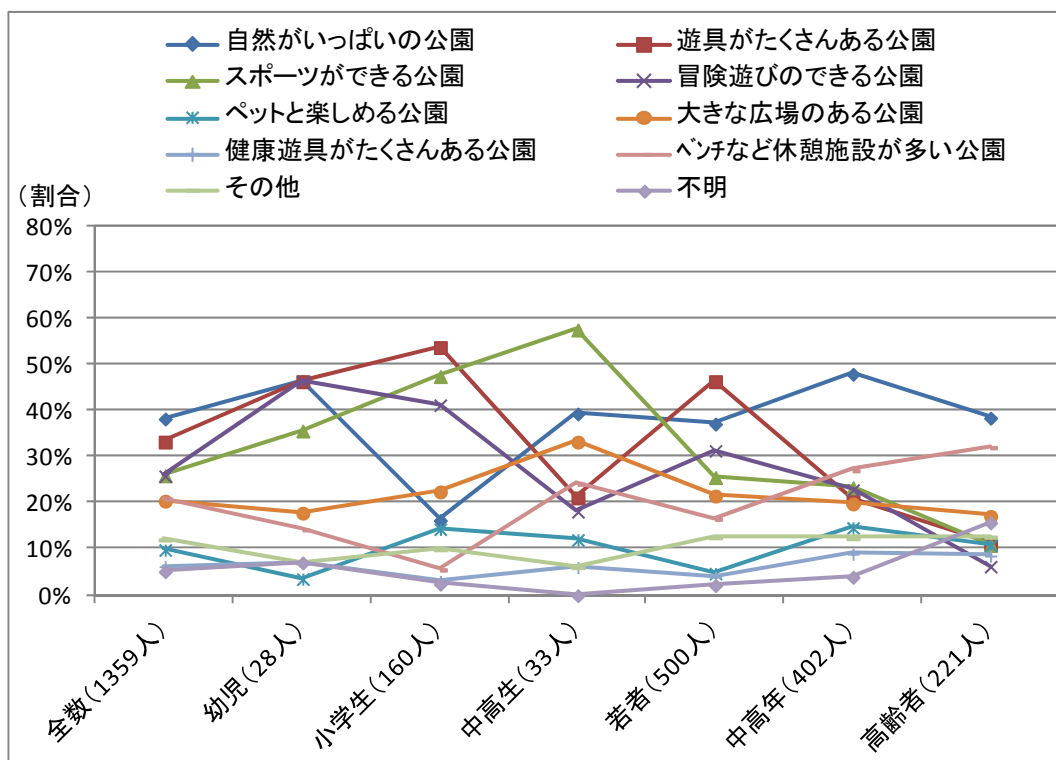


図 3-19 市内に欲しい公園等 (世代別・休日/聞き取り調査)

#### 4) 利用者からの要望（通常業務におけるもの）

利用者の方や関係機関から市に対し、過去1年間に寄せられた公園・緑地についての要望等の内容を整理すると、全645件のうち植栽の剪定やごみ撤去等の維持管理についての要望が281件(43.6%)で最も多く、次いで利用の仕方等についての要望が152件(23.6%)、公園施設の設置や補修等についての要望が135件(20.9%)、その他の要望が77件(11.9%)となっています。

利用の仕方等についての要望の内訳は、害虫や野鳥・犬猫等についてが45件(29.6%)で最も多く、次いでボール遊び等の遊びについてが22件(14.5%)、喫煙についてが14件(9.2%)、その他の利用マナーの問題等についてが71件(46.7%)となっています。

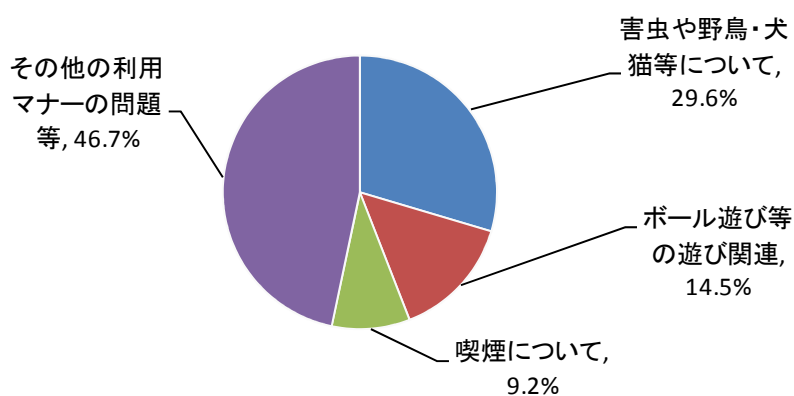


図 3-20 利用の仕方等についての公園利用者等からの要望・意見

表 3-5 利用の仕方等についての公園利用者等からの要望・意見

項目	件数	割合 (%)
害虫や野鳥・犬猫等について	45	29.6%
ボール遊び等の遊び関連	22	14.5%
喫煙について	14	9.2%
その他の利用マナーの問題等	71	46.7%
合計	152	100.0%